

つくろう、未来を。
つくろう、素材で。

2020年8月4日
愛知製鋼株式会社

「愛知製鋼グループ 2030年ビジョン」を策定

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）は、今年創立80周年の節目を迎えるにあたり、自動車業界における100年に一度の大変革の時代を生き残り、多様化する社会課題を解決する役割を果たしていくため、当社グループが将来目指すべき姿を具体的に示した「愛知製鋼グループ 2030年ビジョン」を策定しました。

これは、当社グループのビジョンである「Company of Choice Globally」を実現するため、今後10年で到達すべき姿を示したものです。

グループ従業員全員が共有し、取り組むことで、地球環境、社会、人への責任を果たして参ります。

【概要】

（1）基本方針と目指す姿

「**事業とモノづくり力の変革で収益力を向上させESG経営を実践**」を基本方針に掲げ、大幅な事業モデルミックスの変革と、成長投資による地球環境・社会への貢献、従業員がやりがいと誇りを持ってイキイキと働ける会社づくりなど、ESG経営のリーディングカンパニーとなるよう、積極的な活動を展開していきます。

（2）ESG経営の実践 ～3つの経営指針～

1) 持続可能な地球環境への貢献	①環境責任を果たす ②低炭素社会に貢献 ③自然との共生
2) 事業の変革で豊かな社会を創造	①既存事業の変革 ②新分野（スマート）へ事業展開 ③モノづくりからコトづくりへ
3) 従業員の幸せと会社の発展	①安全・安心な職場環境 ②ワーク・ライフの充実 ③自律型人材の輩出

（3）カンパニー別ビジョン

1) 鋼（ハガネ）	モビリティ社会の発展に貢献する特殊鋼トップメーカーへ
2) 鍛（キタエル）	部品、完成品メーカーへの脱皮とより多品種生産に強い生産体制の構築
3) ステンレス	良品廉価なステンレス鋼材・部材を供給し、サステナブル社会に貢献
4) スマート	高機能素材の提供を通じ、次世代モビリティ、スマート社会へ貢献

（4）収益力強化

「**環境変化に対応した事業変革**」（分子）と、「**トヨタ生産方式と品質を中核としたモノづくり変革**」（分母）による**分数経営**を推進すると共に、**事業ポートフォリオの変革**を行い、**ステンレスカンパニーとスマートカンパニーをより一層強化**することで、収益基盤の強靱化を図ります。

以上の取り組みにより、**連結売上高3,400億円以上、連結営業利益200億円以上**を目指します。

【参考】詳細資料：[「愛知製鋼グループ 2030年ビジョン」](#)